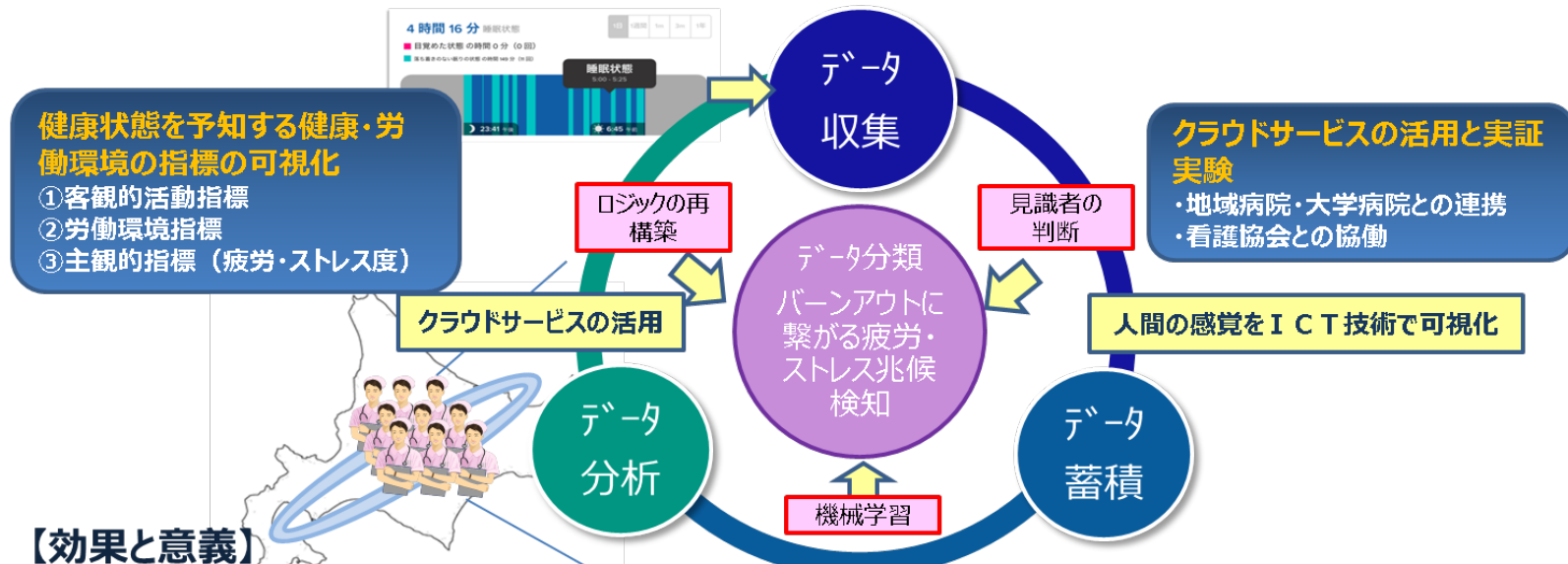


地域医療の質向上と看護職の健康管理のためのICT技術の開発とクラウドサービス活用の実証研究

【フェーズⅠ：平成27年度 フェーズⅡ：平成28～29年度 北海道大学 矢野 理香】

研究目的：地域医療の質向上を目指して、看護職の疲労に関する感覚を可視化するICT技術を構築し、健康管理のためのクラウドサービスの有効性を実証する。



【効果と意義】

- ①個人の健康サポート：自分の健康に気づき、健康を維持することがキャリアの向上につながる。
- ②組織のマネジメントサポート：看護職離職率の低下により、医療の質が向上する。

【課題】

